

おしゃべり話題コース

1. コースの目的

日常生活の中の歓談場面で話題となる身近な内容をめぐって、やりとりができるようになることを目指す会話コース。中国帰国者定着促進センターの「JSLコミュニケーション力水準」(資料①参照)のレベルⅣを目指す。

2. 学習内容

日本人同士の雑談でよく取り上げられるテーマを取り上げ、それぞれのテーマでやり取りされる更に細かいトピック(サブトピック)を例に、やりとりを練習する。教材はたくさん聞いて、たくさん発話練習できるように構成されている。また、中国語が母語の人が発音しにくい日本語の音を取り上げた発音講座も各課についている。

3. 主な対象者

「続・入門日本語文法文型A」コース(受け身形、使役形、推量、敬語等)修了レベルの日本語力があり、自分に関するごく基本的な事柄について、口頭でのやりとりができる人。「JSLコミュニケーション力水準」のレベルⅢ～Ⅳの人対象。

4. 学習期間

12ヶ月まで(期間内に修了しなかった場合は継続申請が可能)

5. 使用教材

テキスト「おしゃべりトレーニング1～5」(CD付)

6. 学習プログラム概略

本コースのプログラムには、「一般プログラム」と「スカイププログラム」がある。「スカイププログラム」は、スカイプ(インターネットの無料電話)の利用者で、スカイプでの練習を希望する人を対象とし、プリントによる提出課題の他にスカイプを使ったセンター講師との対話練習がある。

また、「おしゃべり話題」コースの修了者に限り、もう少しスカイプでのおしゃべり練習を希望する人には「スカイププログラムB」がある(募集要項には載せていない)。受講者はテキスト『おしゃべりトレーニング』の復習を行いつつ、定期的に講師と対話練習を行うことにより、よりスムーズなコミュニケーション力を養う。

詳細は、次頁以降参照。

《一般プログラム》

以下12ヶ月の場合だが、受講者のペースで進める ◎課題は5回に分けて送ります。

| 12ヶ月の場合 | 学習範囲 | 提出物 |
|----------|---|----------------|
| 1～2ヶ月目 | 第1回送付物：受講案内、テキスト「おしゃべりトレーニング1」、第1回課題（1～2課） | |
| | 第1課 「住んでいるところ」「発音1」 第2課 「日常生活（1）」「発音2」 | →★第1回課題（1～2課） |
| 3～5ヶ月目 | 第2回送付物：テキスト「おしゃべりトレーニング2」、第2回課題（3～4課） | |
| | 第3課 「日常生活（2）」「発音3」 第4課 「仕事」「発音4」 | →★第2回課題（3～4課） |
| 6～7ヶ月目 | 第3回送付物：テキスト「おしゃべりトレーニング3」、第3回課題（5～6課） | |
| | 第5課 「出身地・故郷」「発音5」 第6課 「趣味・嗜好」「発音6」 | →★第3回課題（5～6課） |
| 8～10ヶ月目 | 第4回送付物：テキスト「おしゃべりトレーニング4」、第4回課題（7～8課） | |
| | 第7課 「家族」「発音7」 第8課 「外国語学習」「発音8」 | →★第4回課題（7～8課） |
| 11～12ヶ月目 | 第5回送付物：テキスト「おしゃべりトレーニング5」、第5回課題（9～10課） | |
| | 第9課 「中国と日本」「発音9」「発音9 付録」 第10課 「ニュース」「発音10」 | →★第5回課題（9～10課） |
| 修了証送付 | | |

※「発音1～10」の詳細については、資料④「中国語が母語の人のための日本語発音講座」をご参照ください。

《スカイププログラム》

※以下12ヶ月の場合だが、受講者のペースで進める ◎課題は5回に分けて送ります。

| 12ヶ月の場合 | 学習範囲 | 提出物 | スカイプ |
|----------|--|----------------|---|
| 1～2ヶ月目 | 第1回送付物：受講案内、テキスト「おしゃべりトレーニング1」、第1回課題（1～2課） | | |
| | 第1課 「住んでいるところ」「発音1」 第2課 「日常生活（1）」「発音2」 | →★第1回課題（1～2課） | 受講開始後「スカイプ面接」 1回目課題提出後 「おしゃべりスカイプ①」 |
| 3～5ヶ月目 | 第2回送付物：テキスト「おしゃべりトレーニング2」、第2回課題（3～4課） | | |
| | 第3課 「日常生活（2）」「発音3」 第4課 「仕事」「発音4」 | →★第2回課題（3～4課） | 2回目課題提出後 「おしゃべりスカイプ②」 |
| 6～7ヶ月目 | 第3回送付物：テキスト「おしゃべりトレーニング3」、第3回課題（5～6課） | | |
| | 第5課 「出身地・故郷」「発音5」 第6課 「趣味・嗜好」「発音6」 | →★第3回課題（5～6課） | 3回目課題提出後 「おしゃべりスカイプ③」 |
| 8～10ヶ月目 | 第4回送付物：テキスト「おしゃべりトレーニング4」、第4回課題（7～8課） | | |
| | 第7課 「家族」「発音7」 第8課 「外国語学習」「発音8」 | →★第4回課題（7～8課） | 4回目課題提出後 「おしゃべりスカイプ④」 |
| 11～12ヶ月目 | 第5回送付物：テキスト「おしゃべりトレーニング5」、第5回課題（9～10課） | | |
| | 第9課 「中国と日本」「発音9」「発音9付録」 第10課 「ニュース」「発音10」 | →★第5回課題（9～10課） | 5回目課題提出後 「おしゃべりスカイプ⑤」 |
| 修了証送付 | | | |

※「スカイプ面接」は、受講者のコミュニケーション力（会話力）を測定する。「おしゃべりスカイプ①～⑤」は、テキストの内容で対話練習を行う。

《スカイププログラムB》

- ・初回の履修で送付した「おしゃべりトレーニング1～5」(CD付)を使用する。
- ・課題は原則として課さないが、「おしゃべりスカイプ」を2回実施する毎に、レポートを提出し(fax、メールでも可)、実施した感想や次回の目標などを記入しセンターへ送付する。
- ・「おしゃべりスカイプ」は、コース受講中11回実施する。2週間に一回を最高頻度とし、6か月を最短期間とする。受講者の希望により実施の間隔や学習期間は調整可能。12か月まで延長可。
- ・「おしゃべりスカイプ」の実施日の決定は、「おしゃべりスカイプ」時に行うか、後日担当者より受講者に連絡して決める。

参考：「受講案内」に書かれている、受講者向けの注意点

★「おしゃべりスカイプ」を行う前に必ずお読みください。★

1. おしゃべりする課のテキストを必ず復習しておきましょう。
2. おしゃべりする課の「まずは尋ねる」の質問には、自分のことで最低限の答えはできるようにしておきましょう。できれば、プラスαも！
3. おしゃべりする課のテーマ(教科書のサブトピック)で、必ずいくつかはあなたから相手に質問しましょう。そして、相手について毎回3つ以上は、新情報を得ましょう。※聞かれて答えるだけにならないようにしましょう！
4. なるべく教科書や課題の解答は見ずに、相手とのコミュニケーションを楽しみましょう。
※間違ったり、詰まったりするのは全然かまいません。そのような時の対処に慣れる方が大事です。
5. できれば、相手とのやり取りを録音して、後で聞き直してみましょう。
※自分のおしゃべりを客観的に見る良い方法です。相手の言ったことの確認にも使えますし、語彙表現を増やす良い方法でもあります。
6. 「おしゃべりスカイプ」の時間は、原則として30分程度とします。質問などがある場合は10分程度の延長は可能です。
7. 「おしゃべりスカイプ」の相手はセンターの日本語講師です。本コースでは全部で11回の「おしゃべりスカイプ」を実施する予定ですが、担当は1～2名で当たる予定です。都合により途中変更する場合があります。担当はこちらで決めさせていただきますが、何か不都合がある場合は、センターまでご連絡ください。
8. 「おしゃべりスカイプ」の実施日時が決まりましたら、実施時間にスカイプを起こしてお待ちください。こちらからご連絡します。万が一、約束の日時に実行できなくなった場合は、必ず事前にご連絡ください。

【プログラムB 実施例】

※以下、「おしゃべりスカイプ」を月2回実施し、6ヶ月でプログラムを修了する例です。学習期間は12ヶ月まであるので、もっとゆっくりしたペースで「おしゃべりスカイプ」を実施することもできます。

| 6か月の場合 | | 学習範囲 | スカイプ | 提出物 |
|--------|------|--|--------------------------------------|-------------------------------|
| 1ヶ月目 | 上~中旬 | 受講開始時送付物：受講案内、おしゃべりスカイプ実施後レポート用紙（1回~5回） | | |
| | 下旬 | 「おしゃべりスカイプ」の担当者と頻度、日程等打ち合わせ 【第1課】 住んでいるところ | 「おしゃべりスカイプ① 【第1課】 」実施 | |
| 2ヶ月目 | 中旬 | 【第2課】 日常生活（1） | 「おしゃべりスカイプ② 【第2課】 」実施 | おしゃべりスカイプ①②実施後 ⇒★第1回レポート提出 |
| | 下旬 | 【第3課】 日常生活（2） | 「おしゃべりスカイプ③ 【第3課】 」実施 | |
| 3ヶ月目 | 中旬 | 【第4課】 仕事 | 「おしゃべりスカイプ④ 【第4課】 」実施 | おしゃべりスカイプ③④実施後 ⇒★第2回レポート提出 |
| | 下旬 | 【第5課】 故郷・出身地 | 「おしゃべりスカイプ⑤ 【第5課】 」実施 | |
| 4ヶ月目 | 中旬 | 【第6課】 趣味・嗜好 | 「おしゃべりスカイプ⑥ 【第6課】 」実施 | おしゃべりスカイプ⑤⑥実施後 ⇒★第3回レポート提出 |
| | 下旬 | 【第7課】 家族 | 「おしゃべりスカイプ⑦ 【第7課】 」実施 | |
| 5ヶ月目 | 中旬 | 【第8課】 外国語学習 | 「おしゃべりスカイプ⑧ 【第8課】 」実施 | おしゃべりスカイプ⑦⑧実施後 ⇒★第4回レポート提出 |
| | 下旬 | 【第9課】 中国と日本 | 「おしゃべりスカイプ⑨ 【第9課】 」実施 | |
| 6ヶ月目 | 中旬 | 【第10課】 ニュース | 「おしゃべりスカイプ⑩ 【第10課】 」実施 | おしゃべりスカイプ⑨⑩実施後 ⇒★第5回レポート提出 |
| | 下旬 | 総復習 | 「おしゃべりスカイプ⑪ 【総復習+自由課題】 」実施 | |
| 修了証送付 | | | | |

※「おしゃべりスカイプ」は、テキストの内容で対話練習を行う。1課分の「おしゃべりスカイプ」を終了するたびにレポートに記入をします。2課分をまとめてセンターに提出します。1課分ずつ送っても良いです。

7. このコースのスクーリングの目的

本コースは、話す相手の日本語が標準的であれば、身近な話題や自分の興味のある話題で雑談できることを目指す。したがって、スクーリングでは学習した範囲のトピックを使いながら、なるべく多くの「おしゃべり」場面を作ること、受講者が「おしゃべり」をする（やりとりを繋げていく）自信と意欲を持てることを目的とする。そして、よりスムーズなやりとりを目指して、自分の言いたいことを誤解なく相手に伝えられているか、相手に伝わる発音ができているか（ある程度の中国語の癖は許容）、話題選びややりとりの運び方等を中国との比較も交えながら意識できるようにする。

8. このコースのスクーリングの留意点

- ・音声教材を使った練習が本コースの自学自習の中心となる。テキストの指示に従って正しく音声教材が使えているかを確認し、音声教材を使った様々な練習の仕方をスクーリングでもやってみて、受講者が自習時に音声教材を使って学習できるようにする
- ・テキストはおしゃべりをするための話題・語彙表現・日本事情を集めた素材集的な性格を持っており、テキスト全てを教え込む必要はない。
- ・日常のおしゃべり場面で、受講者自身のことで話せることを増やしていくために、テキストの話題・例文・会話を参考にしながら受講者のことを中心に取り上げる。基本的には受講者が中国語でも話していたようなことを取り上げる。提示する語彙や日本語表現、相槌等は、受講者の日本語力にもよるが、おしゃべり場面に相応しいものを意識して提示する
- ・受講者のことでおしゃべりすることがスクーリングの活動の中心になるが、その際講師は、支援的な姿勢で聞き返したり、言い換えたり、相手の言うことを推測して助け船を出したりするなどして受講者とやりとりを行う
- ・受講者とのおしゃべりを3～5分程度ICレコーダーや受講者のスマートフォンなどで録音・録画できると、受講者本人に自分の発音や話し方を聞いてもらうことができ、気をつけたい点をより明確に受講者にフィードバックできる
- ・講師は課のサブトピックで受講者とおしゃべりをしてみて、受講者の日本語力とコミュニケーション上の弱点を把握するように努める（資料③「コミュニケーション力（会話力）アップのためのチェックポイント」をご参照ください）。そして、受講者自身が意識して学習していけるよう、チェックポイントを利用して気をつけるべき点を受講者にフィードバックし、強化していく練習を組む
- ・各課の5章「5. 答えに“プラスα”をつけよう」や「5. やりとりをつなげる」の「対話練習」では、指示に従って受講者が「プラスα」や「つなげることば」を考え、その後、解答例を参考にして音声教材を相手にやりとり練習をすることになっている。課によって内容も少しずつ違い、難しく感じる人が多いようなので、なるべくスクーリングで扱うようにしてほしい。受講者が「プラスα」や「つなげることば」を考えてきている場合は、なるべくそれを生かし受講者の言いたいことでやりとり練習をする
- ・地元の人とのおしゃべりでは、方言や地元で浮かない話し方が大切になる。受講者の日本語力に応じてテキストの表現を地域で受け入れられる言葉にアレンジして提示することが望ましい（例:「～しちゃって…」→「～してしもて…」）。また、地名なども、地元の地名に置き換えて練習をしてもらいたい
- ・テキストのコラムなどを利用して、日本での一般的なおしゃべり事情（関係や属性によるサブトピックの取り上げ方、尋ね方、回避の仕方等、日本の文化習慣の一般事情等）を取り上げ、あれば地元の事情も伝える
- ・発音については相手に誤解なく伝わるレベルであれば多少の中国語の癖は許容とする（資料④『中

『国語が母語の人のための日本語発音講座』の内容と指導上の留意点」をご参照ください。

- ・本コーステキストは、指導者向けの日本語訳が併記されているが、解説の日本語訳を受講者が読みたがっても学習として取り上げることは不要。

9. スクーリングの流れと活動例 (およそ2時間を想定し、以下の活動例から取捨選択する)

①オリエンテーション (初回のみ) : 全体オリエンテーション+おしゃべり話題コースのオリエンテーション

②直接指導

- 学習相談=現在の「おしゃべり」環境 (誰と、どこで、どんなことを) の把握 (初回)、日頃どんな風に学習しているか、学習上の困難点、一人での学習でできること・できないこと等について受講者から話を聞く (個別・グループ)
- 学習内容に関する質問受け=テキスト、課題など (個別・グループ)
- 学習した課のサブトピック毎のシンプルな答えの練習 (聞く方、答える方両方をやってみる) (個別・グループ)
- 学習した課のサブトピック毎に「プラスα」を考えて、答える練習 (個別・グループ)
- 相手の「プラスα」のある答えに反応して一言返す練習
- 「5. やりとりをつなげる」のモデル会話の役割 (パート) を変えながらおしゃべり練習
※余裕がありそうな場合は、「6. さあ、おしゃべりしよう!」のパート練習をしてもよい
- 学習したトピック、内容で自由なおしゃべりをする
※これは、最初に持ってきててもよいし、最後に持ってきててもよい。受講者の様子を見て選択するが、必ず取り入れる
※この時に、録音・録画などをして、問題点や成果を資料③「コミュニケーション力 (会話力) アップのためのチェックポイント」を利用してフィードバックしてもよい
- 課のテーマによるサブトピックの選び方、尋ね方など、中国と日本の違いについて話し合う
※テキストの「コラム」欄にある日本事情を取り上げて話し合ってもよい
※日本でも地域によって異なる事情があればそれも紹介する
- 方言などがあれば、方言を使った「おしゃべり」の例も紹介するとよい
- 発音講座の音声チェックを行い、練習してみる
- 自習方法を講師と一緒に試してみる (自宅での自習方法がわからない受講者や効果的でない自習をしている受講者に対して)
- たまにゲストを呼び、成果を試してみる (おしゃべりの場を設定する)

③間接指導 (自習)

以下は、講師が他の受講者に対応している間に受講者が行う課題の例

- 受講者が持っているテキスト、課題、音声教材を使つての課題
 - ・受講者の会話力や学習の進行状況を見ながら、テキストの練習箇所を選び音声教材を使つて練習させる。
例：質問の聞き取り練習／イレカエドリル／対話練習／「5. やりとりをつなげる」のモデル会話を使つたパート練習／「6. さあ、おしゃべりしよう!」の対話練習等
 - ・テキストの会話の中国語部分を見て日本語を自分で言わせる／書かせる
 - ・各トピック学習について、自分の答えや、反応を日本語で書かせる
- 講師がテキストの内容から作る課題
 - ・「語彙チェック」部分の単語を日本語で書き出し、その横に中国語を書いてもらう
 - ・「3. まずは尋ねるから」の「いろいろな質問」の「発話練習」や「4. 次は、答える」の「いろいろな答え」の日本語部分を消して中国語のみを残し、中国語から日本語を発話する練習をさ

せる。ただし、「いろいろな答え」は、学習者のレベルを見て、余り複雑で発話が難しそうなものは選ばないようにする

- ・「5. やりとりをつなげる」の応用練習のバリエーションを作ってみる
- ・発音講座で練習するミニマルペア（「柿-蠣」「橋-端」等）の応用編を考えて準備する。（但し、講座の趣旨に添った問題を作る。語彙表現を選ぶ場合は、意味的にもあまり不自然な例は準備しないように）

10. スクーリング実施状況から 活動事例など

●自学自習方法の紹介とスクーリングで取り上げる学習

初回は、教材や課題等の送付物とコースの内容・目的などを確認した。次に、テキスト・付属CDを使っての自宅学習の方法を説明し、「4-3. やりとりの復習」までを一緒に練習した。CDを使っての発音・発話練習の方法として、テキストを見ながら、また見ないで行うリピートやシャドウイングを一緒に行った。テキストの学習は自宅学習とし、次回のスクーリングからはテキストに沿った練習よりも受講者自身のことでの会話をメインに扱っていきたいことを話した。

●わかりやすい適切な表現

テレビについての話題では、Nさんにとってはドラマの内容説明が難しかったようで、いくつかフォローした。「見たくないのに見せられたら面白かった」という発話の意図が、実は「あまり興味はなかったけど、娘と一緒に見てみたら案外面白かった」である、というように、誤解を与えやすい言い方も見られたため一緒に確認した。

●会話表現と話題選択（おしゃべり事情）

「仕事はどの辺なんですか」とのテキストの表現から、「どの辺」という言い方を中国語ではしないとのことで、日本語はあいまいに言う言語だが、日本人に直接尋ねてはいけないこと（給料がいくら等）はどういうものがあるのかを一緒に考えた。

●「7. いろいろなおしゃべり」で難しいところ

会話部分について、誰と誰の会話で、年齢差や男女差、立場、親しさの関係等と話し方の違いについて質問を受けた。受講者はかつての職場で管理職でありながら自分のことを「僕」と言っていたが、社長に「私」と言うように言われ、丁寧な表現と普通の表現の違いを実体験で学んだとのこと。日本語は性差や年代差、先輩・後輩、上司・部下等で話し方も話題も変えなければならなくて大変だとも。

●複数でのやりとり練習の方法

トピックを決めて皆で話すことにした。形式は一人ずつ「お正月に何をしたか」を話し、その途中で他の人は必ず質問をして、質問をされた方はプラスαを意識して、答えることとした。講師も同じように参加して質問した。間違った表現が出てきたときは、講師が板書して正しい表現を提示した。ぼんやりと全体の話は理解できても、具体的な状況がわからない話し方をする場合があり、そのときはどう話せば通じるのかを皆で考えていった。

●録音・録画をしての指導

まず、課のテーマに沿った二人の自由な「おしゃべり」を録画し、一緒に振り返りながら練習を行った。Mさんは、前回のスクーリングで注意したことを生かして、双方向の会話になるよう、質問や相槌も上手に使っていた。Nさんは発音の悪い語があり、会話が一時止まってしまったため、通じなかったときに他の言い方でフォローする例をいくつか示した。また、方言がいくつか出ていて、それを指摘したところ、二人とも方言だとは知らなかったと驚いていた。「じゃろ」＝「だろう」や「しとった」＝「知っていた」などが使われていたが、長く住んでいても、方言か共通語かの判断は難しいようである。

◆*◆*◆ 資料 ◆*◆*◆

1. 「JSLコミュニケーション力水準」(資料①)
2. テキスト「おしゃべりトレーニング 1」抜粋(資料②)
3. 「コミュニケーション力(会話力)アップのためのチェックポイント」(資料③)
4. 「中国語が母語の人のための日本語発音講座」の内容と指導上の留意点(資料④)
5. 提出課題 添削例(資料⑤)

(資料①) ※ 以下は本コーステキストの裏表紙に付けているものです。

《日语沟通能力水平》 中国归国者定着促进中心制定

★这个课程以下面“日语沟通能力水平”中的第4级做为目标进行学习。
このコースは以下の『JSL コミュニケーション力水準』のレベル4を目指しています。

| | | |
|------------|----------------|--|
| I (1) | 入門 段階 | <p>如果对方是日语教师等已经习惯与外国人接触的人，对于对方在提问当中使用的「名前」、「～歳」、「家族」、「～人」、「～月」、「～日」、「うち」等自己既知的单词，能够听懂并且能想方设法进行回答。</p> <p>相手が日本語講師等、外国人への対応に慣れている人であれば、「名前」、「～歳」、「家族」、「～人(にん)」、「～月」、「～日」、「うち」等の既知の語を含む質問に対して、それらの語を開き取って何とか答えることができる。</p> |
| II (2) | 基本 段階 前期 | <p>如果对方提问时语速缓慢、明了易懂的话，那么针对自身姓名及年龄、家庭人口及构成、家人年龄、出生地、来日时期、职业、兴趣爱好、生活习惯、嗜好等这些身边的话题，包括疑问词在内的提问，都能够进行回答。</p> <p>ゆっくりはっきりわかりやすく話してくれれば、自分や家族の年齢、出身地、職業、趣味、生活習慣、嗜好等の身近な事柄についての具体的な質問に、簡単な単語や文で答えることができる</p> |
| III (3) | 基本 段階 後期 | <p>如果对方问得明了易懂的话，所涉及的话题如果是在自己身边的具体话题的范围内，就可以进行有问有答的对话。</p> <p>相手のはっきりわかりやすく話してくれれば、身近で具体的な話題の範囲で、一問一答レベルでやりとりができる。</p> |
| IV (4) | 自立 段階 前期 | <p>如果对方说得很明白的话，能够围绕身边或自身感兴趣的话题，进行杂谈・畅谈，另外涉及更一般化的话题，也能够进行自然简单的交谈。</p> <p>相手がわかりやすく話してくれれば、身近な話題や自分の興味のある話題で雑談・歓談をすることができ、より一般的な話題でも、比較的 naturally 簡単なやりとりができる。</p> |
| V (5) | 自立 段階 後期 | <p>能够围绕相当广泛的话题进行流畅、自然地杂谈・畅谈（能够自如地与日本人进行会话）、并且沟通时双方都没有误解对方的意思。虽然会话中时有若干不自然的部分，但能够表述自己的意见并参与讨论。</p> <p>かなり広範な話題について流暢に自然に歓談でき、意思を誤解なく伝え合うことができる。若干の不自然さは残ってもよいが、自分の意見を陳述したり議論に参加したりすることもできる。</p> |

(中国归国者定着促進センターによる)

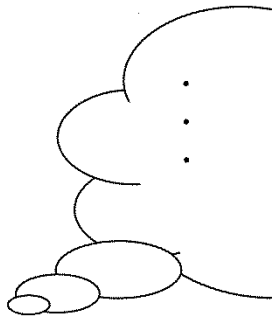
第4課 工作 仕事
きょう さんぎょう
「今日も残業だったんですか」
“今天也加班了吗？”

1. 有关“工作”的话题是哪些方面的呢？ 「仕事」の話題って？

◆ 想像一下！ 想像してみよう！

想必你迄今为止在中国或是在日本做了各种各样的工作。那么，您与周围的人就工作都谈论过什么样的话题呢？请回忆一下迄今为止在中国或日本所经历过的事情，想象你自己可以拿什么来作为话题，并将可以围绕工作进行交谈的话题做一下笔记。

あなたは今まで中国、或いは日本でいろいろな仕事をしてきたと思います。今までに、仕事に関してどんな話題で、周りの人とおしゃべりをしたことがありますか。これまでに日本や中国で経験したことを思い出したり、どんなことが話題にできそうか想像したりして、以下に仕事に関するおしゃべり話題をメモしてみましょう。



好，列出了不少，是有人这么想：即使在中国

さて、いろいろ出てきましたか。中国で話題にできそうがあったかもしれませんね。

◆ 开始准备！ 準備しよう！

双方都是日本人的话，如果围绕工作进行交谈，一般会涉及以下内容：
日本人同士の場合、仕事に関して話すとき、以下のようなことで話しています。

- ・到工作单位的交通手段、所需时间、拥挤情况
- ・工作单位周围的环境
- ・怎么解决午休及中饭问题
- ・公司的业绩、繁忙程度及是否加班
- ・是否有几天休假，是否容易申请休假
- ・工作单位的人际关系、饭局（下班后、休日日）
- （下面的话题是关系亲密后才能提的）
- ・做什么样的工作，从事那一工作的契机…
- ・以往的工作经验（包括短工、零工）
- ・在工作中碰到的有意思的事情、令人吃惊的事情、以及辛苦/为难的事情
- ・在工作单位里发生的事（人事变动·退职·结婚·牢骚·风传）…等

- ・職場までの通勤手段、所要時間、混み具合
- ・職場の周辺（勤務地）の環境
- ・昼休みや昼食をどうしているか
- ・会社の景気、忙しさ、残業の有無
- ・長期休暇の有無、とりやすさ
- ・職場の付き合い、飲み会（退社後、休日）
- （以降の話題は親しくなってから）
- ・どんな仕事をしているのか、その仕事に就いたきっかけ…
- ・過去の就労経験（パートやアルバイトも含む）
- ・仕事で経験したおもしろい出来事、驚いた出来事、大変だったこと
- ・職場の話（異動・退職・結婚・愚痴・噂話など）…等

第3課 日常生活（2）

① 天气・季节等 天気・季節等

CD-3

有关天气的话题是最为放之四海而皆准的，不管交谈双方关系是否亲密，很多时候，一开始都是借助天气・季节这样的话题切入的。

お天気の話は最も無難な話題であり、親しくても親しくなくても、最初は天気・季節の話題から会話が始まることが多いです。

| 与人搭话 話しかける | 回答 答える |
|---|---|
| a [夏天]每天都热死了! [夏に]毎日暑い ^{まいにちあつ} ですね。 | 真是热死了! ほんとに暑い ^{あつ} ですね。 |
| b [冬天]今天也真够冷的! [冬に]今日も寒 ^{きょう さむ} かったですねー。 | 真是冷死了，我想吃火锅什么的。 寒 ^{さむ} かったですねー。鍋 ^{なべ} でも*食 ^た べたいですね。 |
| c [梅雨(或淫雨)时间]真是下个不停啊。 [梅雨時(や長雨)に]よく降 ^ふ りますね。 | 从入梅起就没停过诶。 梅雨 ^{つゆい} 入りしてから ずっとです ^よ ね。 |
| d [初冬时间]白天变短了诶。 [冬の初めに]日 ^{ひ みじか} が短 ^{みじか} くなりましたね。 | 还真是。才五点，就漆黑一片了。 ほんとに。5時 ^{ごじ} で もう 真 ^ま っ暗 ^{くら} ですからね。 |
| e [初秋时间]早晚开始变凉了阿。 [秋の初めに]朝 ^{あさばん} 晩 ^{ばん} は涼 ^{すず} しくなりましたね。 | 是啊，有时候还挺冷的呢。 ええ。時々 ^{ときどき} 寒 ^{さむ} いぐらいですね。 |
| f 今天天气好转了诶。 今日はいい天 ^{てんき} 気 ^き になりましたね。 | 对啊。是个适合洗衣服的好天儿。 そうですね。洗濯 ^{せんたく} 日和 ^{びより} ですね。 |
| g 说是到了黄昏又要下诶。 夕方 ^{ゆうがた} また降 ^ふ るって言 ^い ってたね。 | 啊!是吗? 不过，也许又不准也难说。 え? そうなの? でも、また外 ^{はず} れるかもね。 |
| h 周末好像台风要接近我们这儿来诶。 週末 ^{しゅうまつ} に台 ^{たいふう} 風 ^{ふう} が来 ^く るみたいですね。 | 嗯，好像是。天气预报 ^{てんきよほう} 报了。 ああ、みたいですね*。天 ^{てんき} 気 ^き 予 ^よ 報 ^{ほう} で言 ^い ってたね。 |

专栏 コラム 「お茶出し(倒茶)・お茶当番(轮班倒茶)」

所谓“お茶出し(お茶汲み)(倒茶(端茶))”，是指在工作单位或开会时给领导、同事、客户及来宾端茶倒水这样的工作。在事务性的科室及单位里，现在似乎也是大都由女职工来负责这项工作，不过也有一些单位实施轮班倒茶制度，或是设置自动供茶机来对此进行简化，具体情况根据各公司・机构的不同而不尽相同。采取轮班倒茶制度的单位，有时会将轮到的人称为“お茶当番(倒茶值日人员)”。

与此相同，要是由员工负责处理垃圾的话，大多通过“ゴミ出し(扔垃圾)”、“ゴミ当番(轮班垃圾)”这样的说法来对工作进行分担。

「お茶出し(お茶汲み)」とは、職場や会議などで、上司や同僚、取引先の人、お客さんなどに飲み物を出す作業のことです。事務系の職場では今でも女性職員がやることが多いようですが、当番制にしているところや自動給茶機を設置するなど簡略化しているところもあり、現状は職場によってかなり違いがあるようです。当番制の場合、当番の人を「お茶当番」と呼ぶことがあります。

同様にゴミの処理を職員がする場合には、「ゴミ出し」「ゴミ当番」と呼んで、分担することが多いようです。



2) (忘年会) って、やっぱり (出た) 方がいいですね。

〈例行活动 行事〉

CD-15

- a 送別会って、やっぱり行った方がいいですね。 欢送会这样的活动，还是参加为好吧？
- b 運動会って、やっぱり出た方がいいですね。 运动会这样的活动，还是参加为好吧？
- c 社員旅行って、やっぱり行った方がいいですね。 员工旅行这样的活动，还是参加为好吧？

替换

- a. (送別会・行く)
- b. (運動会・出る)
- c. (社員旅行・行く)

◆ 边看边听! 見ながら聞いてみよう!

CD-1

好,你是否大致听懂了对话的内容呢? 下面是两个人对话内容的文字版。接下来,请一边看教材,一边再听一遍 CD。

さて、音だけで話の内容は大體理解できましたか? 以下は二人のおしゃべりを文字にしたものです。では、テキストを見ながら、もう一度 CD を聞いてみてください。

交谈 1. “试探对方有什么爱好・嗜好”

おしゃべり 1. 「相手の趣味・嗜好を探る」

两名同事。在连休前的公司酒会上。桥本是主持者，所以照顾年轻同事吉田，与他搭话。

同僚同士。連休前の会社の飲み会。橋本さんは幹事なので、気を遣って若い同僚の吉田さんに話しかけている。

| | |
|--|---------------------------------|
| はしもと れんきゅう 橋本: 連休はどこか行かれるんですか。 | 連休期间去哪儿吗? |
| よしだ 吉田: ああ、いや特に。橋本さんは? | 嗯, 没有什么打算。桥本女士您呢? |
| 橋本: わたしは子ども連れてハイキングです。 | 我要带着孩子去郊游。 |
| 吉田: いいですねえ。私なんか休みもテレビ見てごろごろしてるだけで。 | 真好啊! 我呀, 放假的时候只不过是看看电视、躺着休息而已。 |
| 橋本: テレビとか、いつもどんなの見てるんですか。 | 电视节目之类的, 你都喜欢看什么呢? |
| 吉田: んー、『のど自慢』とか、ニュースとか。 | 嗯, “炫金嗓”呀, 新闻呀之类的。 |
| 橋本: へ*? 『のど自慢』? のど自慢ってあのえぬえいちけー N H K の? | 啊?! “炫金嗓”? 你说的炫金嗓, 是不是 NHK 的那个? |
| 吉田: そうです、そうです。日曜昼の。 | 就是, 就是。星期天中午的。 |
| 橋本: へ*...、面白いんですか? | 哦, 有意思吗? |
| 吉田: あ、けっこう。うまい人はうまい*ですよ。 | 嗯。挺有意思的。唱得好的人就是唱得好。 |

| | |
|---|-------------------------------|
| 橋本:ふうん。 | 是吗。 |
| 吉田:あと、衣装が派手な人とか、泣かせる話の人とか、いろいろ出てきますし。 | 还有，有的人穿得可华丽了；也有的人讲催泪故事，什么人都有。 |
| 橋本:そうなんだ。 | 哦，是吗。 |
| 吉田:そうそう、最近 ^{さいきん} は外国 ^{がいこくじん} 人とかもけっこう出てるんですよ。 | 对了，最近外国人参加的也很多呀。 |
| 橋本:へえ、それって日本語 ^{にほんご} で歌 ^{うた} うんですよ。 | 是吗。那个是用日语唱吧。 |
| 吉田:もちろん。チャンピオンになる人もいますよ。 | 当然。还有外国人夺冠的呢。 |
| 橋本:ほんと ^{ほんと} *。今度 ^{こんど} 見てみようかな。 | 真的。下次我也看看 |
| 吉田:ぜひ ^{ねん} 年に一回 ^{いっかい} のチャンピオン ^{たいかい} 大会 ^{たいかい} なんか特に見物 ^{とく} ですよー。 | 一定要看看。一年一次的冠军赛，那才叫好看呢！ |
| 橋本:え、チャンピオン大会まであるの!? | 什么？还有冠军赛呐？！ |

※へ：短音“へ”表示轻微的惊讶。

音の短い「へ」は、軽い驚きを表す

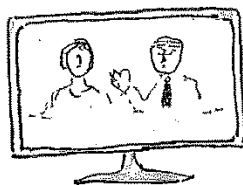
※へえ：“へえ”虽然是一种感到钦佩、惊讶时的随声附和语，但如此这般，也可以用于感到有些怀疑时。

「へえ」は感心したり、驚いたりしたときに使う相づちだが、このように少し疑っているときなどにも使う。

※[うまい]人は[うまい]ですよ：[唱得好]的人就是[唱得好]。

※ほんと：随声附和语。语音分为升调和降调两种，此处说成降调以表示惊讶。若是说成升调的话，表示怀疑的语气便会比较重。

相づち。上がり調子と下がり調子があるが、ここでは下がり調子で驚きを表す。上がり調子のほうが、疑いの気持ちが強い。



为了提高会话力而须达到的项目检测表

コミュニケーション力 (会話力) アップのための
チェックポイント

| | |
|---|---|
| a | <p>是否存在语音方面的问题? 发音、语调、讲话方式(声音的大小、语气的强弱等)</p> <p>音声上の問題はないか:発音、イントネーション、話し方(声の大きさ、強弱等)</p> |
| b | <p>是否能听懂对方的提问? (包括反过来寻问对方并能听得懂对方要表达的意思)</p> <p>相手の質問を聞き取れているか(聞き返して聞き取れることを含む)</p> |
| c | <p>是否能完成最基本而足够的必要回答?(包括说不上词语时能够换句话表达)</p> <p>聞かれたことに、必要かつ十分な回答ができているか (言い換えたりして伝えられることを含む)</p> |
| d | <p>是否能在回答的基础上, 加上一点补充内容等, 有意识地使交谈持续连贯下去?</p> <p>回答に+αを付けるなどして、やりとりをつなげようとしているか</p> |
| e | <p>对话告一段落时, 所讲的是否能让对方听明白? (包括有时借助对方的帮助和提示)</p> <p>まとまった話をした時に、(時には相手の助けも借りつつ)相手にわかるように話せているか</p> |
| f | <p>对话是否能流畅合拍?(是否能够做到自然的反应、对话停顿时的应付等)</p> <p>かみ合ったスムーズなやりとりができているか(自然な反応、行き詰りへの対処等)</p> |
| g | <p>在会话时, 在措辞(包括方言在内)和话题上, 是否能够考虑到自己和对方的关系、情况等?</p> <p>相手や場面等によって、言葉遣い(含む方言)・話題等に配慮できているか</p> |

(資料④)

「中国語が母語の人のための日本語発音講座」の内容と指導上の留意点

0. このコースの対象と目的

- ・対象 … 日本に何年も住んでいていろいろ話せるのに、日本人の日本語が聞き取れなかったり自分の発音が通じなかったりして悔しい思いをしてきた人
- ・目的 … ネイティブの日本語が聞き取れ、ネイティブ日本人に聞き取ってもらえる発音ができる
※ 通じればOK、なので、ネイティブ並みの発音は目指さない

1. このコースの心得 受講者（若年層）向けに前書きに書いてあること

- ① 語学は耳から口真似から
- ② 役者になったつもりで（細かい発音が違っていても、全体の音の流れがそれっぽいと正しく聞こえるもの）
- ③ 千里の道も一歩から
- ④ 継続は力なり
- ⑤ 使わない道具は錆びる

2. このコースの指導の心得 スクーリング講師の皆さん向け

- ① 目標設定は受講者の年齢次第
発音と聞き取りという身体能力とも言える力は年齢とともに衰えるので、高齢者にはそもそも無体な要求の場合がある → その場合の目標は、周りの日本人にこの人の発音の癖を知ってもらうこと
※ 例外的に舌も耳も柔軟な高齢者もいるので、あくまでも目の前の受講者の力を見て
- ② 若い人の場合も …
細かい発音だけに囚われないように → 細かい音素の正確さよりも、文全体のイントネーションや拍を丸ごと真似しよう
- ③ 中国語の発音を …
転用しても通じるものはそれでOK

3. このコースの課立て

| 課 | 学習内容 |
|------|--|
| 発音1 | アクセント、イントネーション |
| 発音2 | ちょっと気をつけるだけで通じる発音にできる母音「おーう」 |
| 発音3 | コツを覚えれば簡単に通じる発音できる「は行」 |
| 発音4 | 日本語には重母音はないぞ！ |
| 発音5 | 「き・ぎ・つ」を攻略！ |
| 発音6 | さあ、難関の「清音－濁音」です！ |
| 発音7 | いよいよ最難関－1：長短！ |
| 発音8 | 最難関－2：「ん」と長音 |
| 発音9 | 「拍」の最難関、「っ」と拍の総ざらえ 付録：「な/ら、にや/りや」問題 |
| 発音10 | 最終回は闇鍋状態、今までの全複合 |

※「発音9 付録」の音声のうち、最後の2トラックだけ、10課CDの「発音10」の後に収録されています。

4. 1 課の構成

5課の「き・ぎ」を例に

① **どこが問題なのかな?** …よくある間違いを意識化してもらうコーナー

例① 切手 {aきって bちって} ② 銀行 {aぎんこう bじんこう}

② **ここがポイント!** …発音要領コーナー

中国語の発音を利用したコツ/各音の発音の仕方を意識してもらうコツ

③ **聞き分けてみよう!** 語単位で → 文中で

例① {a でんき b でんち} が 切れちゃった!

④ **言ってみよう!** できるだけ使用頻度の高いペアで

語単位で(既出語→新出語) → ミニマルペアを含む文中で → 含まない文中で

例) 帰国・遅刻 → 帰国の日に遅刻 → 「振り込め詐欺撃退

⑤ **まとめのクイズ** 主として② **ここがポイント!** の「要領」から

例 () 「き」の音は中国語の「踢」と同じ音である

() 「きゃ」の音が出せない場合、「き・や」と発音した方が「ちゃ」になるよりまだいい

① < 都是住在附近的家庭主妇。A 知道 B 家的爷爷住院了 >

A: おしちゃんのお世話 大変でしょう。 せわ たいへん 要照顾爷爷/姥爷，很辛苦吧。

B: ええ、兄嫁と交替で病院に詰めてるんです。 あによめ こうたい ひょういん つ 是呀，跟嫂嫂轮流去医院陪他。

※ ここでは、Bさんの回答の新情報を
 そうですか。 「理解しましたよ」という意味で
 「そうですか」を使っています。

A: そうだねー。長引くと大変だね。 どうだね

※ 「そうだね」「そうですか」は
 同意する時に使います。

※ 知全体なので
 下も合わせましょう!!!

② < 同年级学生的母亲 >

※ 「へて、どうですか。」は相手に「意見を聞きたい/相談したい」という時に使います。自分で
 ぼきりとした
 考えを持っ
 ている時は
 使いません。

A: 子どもの携帯って、どうしてますか。 こ けいはい 在给不给孩子买手机的问题上，你们是
 怎么处理の?

B: うちは、塾が遠いから、6年生から持たせてます。 じゅく とお ねんせい も 我们家离补习班远，所以从六年级开始
 就让孩子带手机了。

※ まずは Bさんの回答を受けてから、反応を返しましょう!!!
 (例) へて、6年生からですか。それくらいから持つ子が多いんですか...

A: うちは携帯は高校まで禁止にします。 かんが ← Aさんはこんなにぼきりした
 考えはまだない
 でしょう。

※ 解答にも例がいくつかありますので、参考にして
 復習してくださいね!!!

[写一下有关你自己的事情]

【第5課】 生长的地方・故乡

请针对下述提问就你自己的情况进行回答，并将其写下来。请尽量给你的回答附加一点儿成分与色彩。另外，也请将你所写出来的回答翻译成汉语。

※ おしゃべりを想定に赤を入れてますね!!!

(1) 問：中国のどちらからいらっしゃったんですか。

[回答]

[成分与色彩]

| | | | |
|----|----|----------|-------------|
| 答: | 日語 | 中国の武漢市から | 「武漢」知ってますか。 |
| | 中文 | 从中国的武汉市 | 知道武汉吗? |

(2) 問：(你生长的地方) は中国のどの辺ですか?

| | | | |
|----|----|----------|---|
| 答: | 日語 | 中国の中部です | 揚子江から見ると、武漢は上海の上流 あり 重慶の下流 あり あります。 |
| | 中文 | 属中国的中部地区 | 如果从长江来看，武汉在上海的上游，在重庆的下游的地方。 |

(3) 問：(你生长的地方) って、どんな気候ですか。夏は *暑い*、冬は *寒い* ですか。

| | | | |
|----|----|---------------------------------------|--|
| 答: | 日語 | 気候は <i>よくない</i> ですか。 (典型的な大陸気候ですね。 | 夏は <i>暑い</i> 、冬は <i>寒い</i> ですね。 夏は <i>暑い</i> 、冬は <i>寒い</i> ですね。 |
| | 中文 | 如果说气候就不太好了 是典型的大陆气候 | 尽管夏天非常的热，但是冬天又很冷。 |

(4) 問：(你生长的地方) って、どんなところなんです。 *陸* という意味は言いたくもありません。

| | | | |
|----|----|------------------------------------|--|
| 答: | 日語 | 武漢は中国の各地に通じる交通の要所と <i>呼ばれて</i> ます。 | 日本からも <i>多くの</i> 企業や工場が <i>進出</i> しています。 |
| | 中文 | 武汉是被称为中国交通最方便的城市。 | 很多日本的公司也不断进入武汉。 |

暑いことばです おしゃべりによ